

<別紙2>

今年の参加者

参加チームは、学生21チーム、社会人14チームの計35チーム。  
参加人数は3人1チームで、計105名。

・参加大学、団体（学生）

東北大学 野鳥の会  
東京農業大学 動物研究部  
東京農業大学 野鳥の会  
新潟大学 公認いきものさーくるふかみどり  
酪農学園大学 野生動物生態研究会  
日本獣医生命科学大学  
東京農工大学 野生動物研究会  
麻布大学獣医学部  
麻布大学 野鳥研究部  
弘前大学 野鳥の会  
岐阜大学  
帯広畜産大学 自然探査会  
東京大学・慶應義塾大学（連名）  
北里大学 自然界部  
鹿児島大学

・参加団体（社会人）

シャープ  
公益財団法人日本野鳥の会 翻訳ボランティアアジアクラブ  
日本野鳥の会  
宮島沼・水鳥湿地センター  
大崎市役所  
酪農学園大学 OB/OG  
NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク  
湖北野鳥センター  
ラムサールセンター

## 参加者の意気込み

- ・ 今回は初の参加となります。我々動物研究部の夏の合宿地でもある奥多摩で、野鳥をどんどん見つけていきたいと思います！私たちの部活動の「野鳥班」という部門の現リーダー、副リーダー、前年度リーダーが参加します。普段の活動で鍛えた鳥の発見力を発揮するとともに、この時期ならではの野鳥を見て楽しみたいと思います。（東京農業大学動物研究部）
- ・ 私達カントリーは、バードウォッチングサークルです。今回は、大会参加経験がない人がほとんどですが、ゆるく楽しく行おうと思います。少しでも多くの人にバードウォッチングの楽しさと、環境保護の大切さを知ってもらえるよう頑張りたいです。（日本獣医生命科学大学）
- ・ 東京大学生物学研究会と慶應野鳥の会の合同チームです。両サークルは、それぞれの大学で唯一の野外生物系サークルとして活動しています。初参加のメンバーが主体のチームですが、1種でも多くの鳥が見られるように頑張ります。（東京大学・慶應義塾大学）
- ・ アジアクラブは、（公財）日本野鳥の会の翻訳ボランティアグループ。公式HPの“English”の英文資料3編は、すべてアジアクラブの英訳です。今年は新しいメンバーの参加で張りきっています。自然保護関係の翻訳ボランティアと、バードソンでのボランティアを、日本野鳥の会主催から数えると20年連続参加。今年も平均年齢が下がって65才！ 白馬の美しい自然の中で、頑張ります！（翻訳ボランティア・アジアクラブ）
- ・ 過去のバードソンで1986～88年には鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリが、2005～07年にはトラストサルン釧路が募金先となりました。今年もタンチョウと釧路湿原ともども、恩返しとして参加します。今年も釧路川の流域をフィールドに、伝統のチーム名に恥じぬよう上位進出を目指します。（（公財）日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ トラストサルン釧路）